

Topics

一関市ものづくり産業振興事業・農商工連携推進事業 (併催)第224回産学官イブニング研究交流会 開催!

昨年12月17日、一関市保健センターにて、一関市ものづくり産業振興事業・農商工連携推進事業と併催で、第224回産学官イブニング研究交流会を開催し、46名のご参加を頂きました。

“地域資源・地域技術力で街づくり”をテーマに、県南技研・小田嶋所長と協力企業の方々からの発表を頂きました。第1部では、クロモジを使った“香り漂う街づくりプロジェクト”の活動内容と開発商品の紹介、第2部では、ウルトラファインバブルを使った“魔法の泡で街づくり”の取り組み状況について説明がありました。

新型コロナウイルス感染が広がっており、次回イブニング研究交流会の開催はその収束状況を見ながらセミナーのみ行う予定ですが、地域のお役に立てるテーマを企画して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



■一関市商工労働部 小野寺課長からご挨拶を頂きました



■県南技研・小田嶋所長の発表の様子



■クロモジを使った商品開発事例

- ①クロモジジン (世嬉の一酒造(株))
- ②クロモジクッキー (ワークジョイ かわさき)
- ③クロモジ餅 (大林製菓(株))
- ④クロモジ化粧品 (東里工業(株))



*クロモジは、クスノキ科の落葉低木。「日本産のアロマ」と言われている。



本年もよろしくお願いいたします。

公益財団法人岩手県南技術研究センター 職員一同

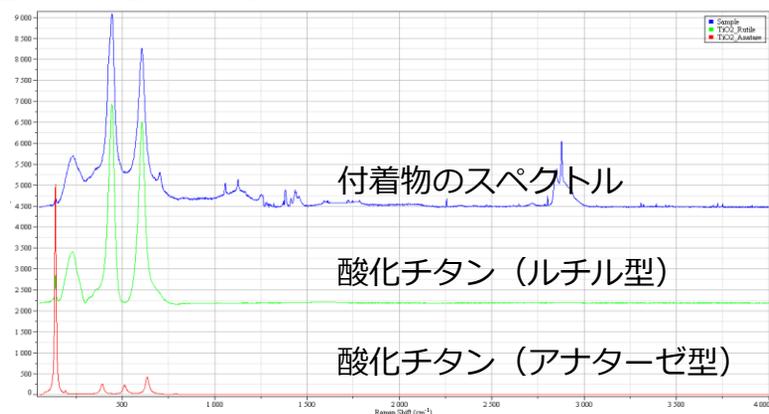
顕微レーザーラマン分光装置（ラマン顕微鏡）は、物質にレーザーを照射して分析を行います。レーザーを当てると、最初に当てたレーザーの波長とは異なった光が観察されます。これはラマン散乱光と呼ばれております。

このラマン散乱光を観察することで、物質に固有の波形（スペクトル）を得ることが出来ます。スペクトルをデータベースと照合することで、どの様な物質かを特定することが可能です。また、金属などの酸化物に対しても測定出来る場合があります。

ビニール上に付着した白点の分析事例を示します。データベースと照合すると酸化チタンであることが分かりました。酸化チタンはルチル型やアナターゼ型などが存在し、それぞれに用途があります。今回はルチル型であると考えられるため、白色の顔料などが考えられます。なお、アナターゼ型は光触媒能が高く外壁材などに利用されています。



白色付着物(0.5mm目盛り)



付着物のスペクトル

酸化チタン（ルチル型）

酸化チタン（アナターゼ型）

ライブラリ照合（より近い波形を検索し表示）すると、付着物は酸化チタン（ルチル型）であると推測される。同じ酸化チタンのアナターゼ型とはスペクトルが異なっている。それぞれに用途が異なるため、異物の発生源の特定に役立てることが出来ます。

Topics

品質管理(QC)講座開催！

初めて品質管理を学ぶ人や品質管理に従事して間もない方を対象にした講座を、令和3年1月15日から3日コースで開始し、7名が受講しています。今年度の品質管理系講座は今回が最後となります。来年度は9月5日(日)に品質管理検定を一関会場で開催予定ですが、7月にQC検定3級取得支援講座を開催予定です。



1/15(金)のQC入門講座の様子

Topics

3Dプリンタ期間限定設置(2月迄)

3Dプリンタの設置期間が残り1ヶ月となりました。事前予約制で無料でご利用頂けますので、是非、この機会にご利用下さい。

造形方式：FDM(熱溶解積層法)、モデル材：ABS樹脂、最大造形サイズ：(mm):(X)254×(Y)254×(Z)254
積層ピッチ(Z軸:mm): 0.33、0.254、0.178